



stcli rebalance コマンド

- [stcli rebalance コマンド \(1 ページ\)](#)
- [stcli rebalance disable コマンド \(2 ページ\)](#)
- [stcli rebalance enable コマンド \(2 ページ\)](#)
- [stcli rebalance get-node-timeout コマンド \(3 ページ\)](#)
- [stcli rebalance set-node-timeout コマンド \(3 ページ\)](#)
- [stcli rebalance status コマンド \(3 ページ\)](#)
- [stcli rebalance stop コマンド \(4 ページ\)](#)
- [stcli rebalance start コマンド \(4 ページ\)](#)

stcli rebalance コマンド

再調整関連の操作。

```
stcli rebalance [-h] {enable | disable | start | stop | status | set-node-timeout | get-node-timeout}
```

構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
enable	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整を有効にします。
disable	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整を無効にします。
get-node-timeout	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整/自動修復ノードタイムアウトを取得します。
set-node-timeout	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整/自動修復ノードタイムアウトを設定します。
start	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整を開始します。

オプション	必須またはオプション	説明
stop	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整を停止します。
status	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタの再調整のステータスを取得します。

コマンド デフォルト なし。セット内の1つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli rebalance コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli rebalance disable コマンド

ストレージクラスタの再調整を無効にして、再調整をトリガーするイベント、cron ジョブ、またはコマンドが無視されるようにします。

stcli rebalance disable [-h]

コマンド デフォルト なし。

使用上のガイドライン stcli rebalance disable コマンドを実行し、その際に [] で囲まれた引数を任意に含めることができます。

このコマンドを実行するときに進行中の再調整プロセスがあっても、現在の再調整は停止しません。再調整を停止するには、stcli rebalance stop コマンドを使用します。

stcli rebalance disable コマンドの影響は、ストレージクラスタまたはノードの電源を再投入した後も、stcli rebalance enable コマンドを使用して再度有効にするまで続きます。

stcli rebalance enable コマンド

ストレージクラスタを再調整できるようにします。

stcli rebalance enable [-h]

コマンド デフォルト stcli rebalance のデフォルト値は enable です。

使用上のガイドライン stcli rebalance enable コマンドは、クラスタの再調整を再度有効にするために実行し、その際に [] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli rebalance get-node-timeout コマンド

ストレージ再調整/自動修復ノードタイムアウトを取得します。

stcli rebalance get-node-timeout [-h]

コマンドデフォルト なし。

使用上のガイドライン stcli rebalance set-node-timeout コマンドでは、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

```
# stcli rebalance get-node-timeout
Node auto healing timeout is set at 120 minute(s)
```

stcli rebalance set-node-timeout コマンド

ストレージ再調整/自動修復ノードタイムアウトを設定します。

stcli rebalance set-node-timeout [-h] --timeout TIMEOUT

構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
--timeout TIMEOUT	オプション。	自動修復を開始するまでのノードのタイムアウトを分単位で設定します。

コマンドデフォルト なし。

使用上のガイドライン stcli rebalance set-node-timeout コマンドでは、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli rebalance status コマンド

ストレージクラスタ再調整プロセスのステータスを表示します。

stcli rebalance status [-h]

コマンドデフォルト 他に指定できるオプションはありません。

使用上のガイドライン stcli rebalance status コマンドを実行し、その際に [] で囲まれた引数を任意に含めることができます。

次の例は、再調整が有効で実行されている場合のステータスを示しています。

```
# stcli rebalance status  
  
rebalanceStatus:  
rebalanceState: online  
  percentComplete: 10  
rebalanceEnabled: True
```

次の例は、再調整が有効であるものの、まだ実行されていない場合のステータスを示しています。

```
# stcli rebalance status  
  
rebalanceStatus:  
rebalanceState: cluster_rebalance_not_running  
rebalanceEnabled: True
```

次の例は、再調整が無効で、まだ実行されていない場合のステータスを示しています。

```
# stcli rebalance status  
  
rebalanceStatus:  
rebalanceState: offline  
rebalanceEnabled: False
```

stcli rebalance stop コマンド

stcli rebalance start コマンドを使用して自分で開始した再調整や、再調整のイベントまたはスケジュールによってシステムが開始した再調整が進行中であれば停止します。

再調整プロセスがすぐには停止しない場合があります。

stcli rebalance stop [-h]

コマンド デフォルト

他に指定できるオプションはありません。

使用上のガイドライン

stcli rebalance stop コマンドを実行し、その際に [] で囲まれた引数を任意に含めることができます。

stcli rebalance status コマンドを使用すると、再調整プロセスの現在のステータスまたは進行状況を確認できます。

進行中の再調整がない場合、このコマンドは何の影響も及ぼしません。

stcli rebalance start コマンド

イベントまたは他のスケジュールを待機せずに、ただちにストレージクラスタ リソースの再調整を開始します。

stcli rebalance start [-h] [-f]

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
コマンド デフォルト	-f, --force	オプション。	再調整を強制的に開始します。
使用上のガイドライン	<p>なし。</p> <p>stcli rebalance start コマンドを実行し、その際に [] で囲まれた引数を任意に指定できます。</p> <p>このコマンドは、ストレージクラスタの可用性を復元しようとしたり（ストレージクラスタに障害があり、ストレージクラスタが正常でない状態の場合）、ストレージクラスタ内のすべてのノード間で領域使用率が均等になるように調整したりします。</p> <p>ただし、ストレージクラスタが ENOSPACE 状態の場合、再調整は開始されません。ENOSPACE 状態を分析し、修正してから、stcli rebalance start コマンドを実行します。</p>		

